

お茶の水女子大学での1年

慶北大学校

ホン・スミン

慶北大学校からお茶の水女子大学に交換留学に来たホン・スミンと申します。1年間、日本で交換留学の生活をしながら様々な経験ができました。本当に時間があつという間に過ぎました。いい思い出をたくさん作ることができて嬉しいです。

前学期と比べて、今学期は留学生向けの授業よりも日本人学生と一緒に受ける授業を中心に受講しました。日本語の実力が向上したことを自分でも感じられました。

一番記憶に残る授業は「日本事情練習5A」でした。日本事情演習5Aは、個人のアイデンティティや歴史認識はどのように形成されるのかについて、日本のお茶の水女子大学の学生と韓国の釜山外国語大学で日本語を学ぶ学生がオンラインZOOMを通じて対話や発表をしながら意見を共有する日韓合同授業です。私はお茶の水女子大学所属ですが、韓国人として参加しました。授業を通じて、今まであまり考えていなかった自分のアイデンティティがどのように形成されたのかを考えてみました。自分自身を振り返り、自己理解ができる良い機会でした。また、日韓お互いはどのような国家イメージを持っているのか、過去から現在までの日韓関係問題をどう考えているのか、未来の日韓関係のために私たちは何ができるのかについて日本人学生と対話ができました。日本で暮らしながら日本人の友人と日韓関係について対話するのはセンシティブなテーマだと思って避けてばかりいました。しかし、今回はお互いを尊重しながら率直に意見共有ができた貴重な経験でした。

「スポーツ科学概論」では新しくできたスポーツ、オリンピックとパラリンピック、スポーツと栄養バランスなどスポーツに関するテーマを幅広く学ぶことができました。そしてゲストスピーカーで2020東京オリンピックフェンシングエペ男子団体日本金メダリストに会うことができました。オリンピックの金メダリストに会って、金メダルを実際に触ることができて興味深かったです。

今学期は新しいチャレンジでバイトをしてみました。日本で外国人として仕事ができるか経験したくて「ドトールコーヒーショップ」という日本のチェーンカフェでバイトを始めました。バイトを始めた時はカフェのバイトが初めてだったので、仕事がうまくできるか、日本語で接客できるか心配でしたが、店長と一緒に働く同僚が親切に教えてくれて適応できました。また、一緒に働く同僚の中に大学生が多くて友達を作ることができて良かったです。

今学期は半年しか残ってない日本での生活なので最善を尽くして日本を楽しみました。冬休みには北海道、大阪、奈良、京都に行って、ゴールデンウィークには福岡、熊本に遊びに行きました。今年新しくできたジブリパークに行くために名古屋にも遊びに行きました。川越にも行ってきました。夏休みにはねぶた祭りを楽しむために青森へ行きます。日本に住みながらいろんな地域を旅行できるのは本当にいい機会だと思います。

東京都内でも熱心に遊びに行きました。季節に合わせて開かれる祭りが楽しかったです。開花時期によって違う花を見に桜祭り、つつじ祭り、アジサイ祭りに行ってきました。たくさんの花が満開できれいに咲いているのが見られました。4年ぶりに開かれる隅田川花火大会も見に行きました。運良く花火を近くで見ることができましたが、規模がものすごく大きくて、すべての花火が華やかできれいでした。

今学期に新しく来た交換留学生たちとも楽しく過ごせて良かったです。音羽館のキッチンルームでたこ焼きパーティーもしました。友達がやっている合唱団の公演を見に行ったり、東京タワーを見に行ったり、一緒に遊びに行ったりしました。良い友達と楽しい時間を過ごせて幸せでした。

最後に、私が交換留学をうまく過ごせるようにご助力くださった方々に感謝を申し上げます。私の指導教官になってくださった森山先生、今学期に森山先生の日本事情練習5Aを受講して本当に良い経験でした。交換留学生を担当していろいろ手伝ってくださった萩原先生、学びの多い授業をしてくださった王先生、加藤先生、山口先生、橋本先生、難波先生ありがとうございました。そして、様々な手続きをしてくださった国際科の先生、安全に過ごせるようにしてくださった音羽館の管理人の方々もありがとうございました。

